

教育心理研究部門

「人生のやる気デザイン」研究部会（第4回）

日時：2020年8月24日（月）13:00～15:30

場所：オンライン会議（ZOOMにより開催）

出席：渡辺 弥生・榎本 淳子・倉住友恵・杉本 希映・中井 大介・中谷 素之 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

欠席：鈴藤益弘

内容：前回に続き、各兼任研究員が興味・関心のある研究テーマを提示。今回から、時間の関係もあり、1研究会につき3人ずつの発表とした

（1）倉住研究員：時間的展望・未来展望に関する国内の研究レビュー

- ・研究関心「オリジナル人生ゲーム」の作成を通じて大学生の肯定的な未来志向（将来や人生への”ワクワク”）を育む
- ・今後も時間的展望研究のレビューの継続、概念の整理と測定尺度の厳選をしていく

（2）榎本研究員：日本の成人先天性心疾患患者は、他国と比較してなぜ生活に満足していないのか？

- ・今回のテーマ：慢性疾患の「病いの経験」「病みの軌跡」を考えるⅡ
参考文献を2本紹介。

〈文献1〉 Berghammer, M., Dellborg, M., & Ekman, I. (2006). Young adults experiences of living with congenital heart disease. *International Journal of Cardiology*, 110, 340-347
〈文献2〉 laessens, P., Moons, P., Dierckx de Casterle, B., Cannaerts, N., Budts, W., & Gewillig, M. (2005). What does it mean to live with a congenital heart disease? A qualitative study on the lived experiences of adult patients. *European Journal of Cardiovascular Nursing*, 4, 3-10

→病気をもつことで「葛藤と経験」は、健康な人より増えていく。

健康な人の生活と調和が取れる生活とは何か。どう生きることが幸せ (well-being) なのか。

（3）中井大介氏：人生のやる気として「恋愛」に対するパッションにフォーカスした研究

- ・近年の海外の先行研究では、恋愛を「パッション」という概念でとらえた研究が多く行われている。先行研究を4本紹介。
- ・今後は ①パッションを規定する要因 ②パッションが影響する要因 ③パッションと関連する要因について検討する予定。

・次回研究会は 2020年9月14日（月）13時～。 渡辺・杉本・中谷研究員の発表